

小宮山洋子厚生労働大臣

慌ただし中での充実した訪問でした！

14日(火)に厚労省より『日程は決まらないが小宮山大臣本人が、「幼保が一緒にステキな子育てを実践している若盛園長先生のいる「こどものもり」を見に行きたい!』と、当園への訪問を希望されているとの連絡をいただく。翌15日(火)午後、国会開催を調整しながら17日(木)の14:30~15:30に訪問と決まったとの知らせあり。夕方担当部局の厚労省より事前打ち合わせにと6:30頃2名が来園。時間と内容の詳細(限られた分単位の流れと警護を確実に生かしていく為の打ち合わせ)あり。翌16日午後吉川警察が警護について近隣の事前安全確認に来園。園でもお迎えをするにあたってスタッフ打ち合わせをする



17日(木)12:00~県警が警護の為近隣を確認と配置につく。14:20頃予定より少し早めに警備のSPに先導されて黒塗りの車で大臣が到着。藤田政務官、橋本保育課長

さんも一足先に到着。さくらルームにて幼保の園長・現場保育者との情報交換会。その後保育園園長の案内で園舎を見学し、ちゅうりっぷ組~こすもす組~トイレ~おれんじ



コースの部屋からランチルームへ移動し、子どもたちと話しながら一緒におやつを食べました。ランチルームのステージのイスにお座りいただき子どもたちからお迎えの歌のプレゼントに笑顔で答えていました。終始笑顔と幼保一体での子育ての姿に感心されていました。正門前にて、記者団に感想をお話しされ、慌ただし中でしたが予定通り15:30お帰りにになりました。

さっそく、本日「2012. 5. 18 (金) 付け読売新聞」に掲載されました。

小宮山厚生労働相が17日、松伏町の認定こども園「こどものもり」を視察した。同園は、幼稚園の教育機能と保育園の保育機能を一体的に提供する、県内最初の認定こども園。社会保障・税一体改革が国会での焦点となる中で、民主党は子育て関連法案の柱に、総合こども園の創設を据える。認定こども園は、そのモデルと位置づけられる。小宮山厚労相は職員と意見を交わし、園児と一緒におやつを食べた。視察後、記者団に「幼稚園児と保育園児と一緒に生活することで、相互が補完し合い、良い保育と教育ができています。実情がうかがえた」と述べた。

認定こども園を視察



サクランボを持ち帰ります

園のサクランボがみる間に「ルビー色」に輝き、今食べ頃となっています。



週末を迎え、落ちてしまう実もたくさん出てくることと思いますので、ご家庭でも味わって頂けたらと本日、子どもたちが自分で持ち帰るサクランボを選びすぐり、採りました。アルミカップに入れて持ち帰ります。ほんの一粒ずつですがどうぞ味わっていただけたらと思います。

《ぎょう虫卵検査を全員、行ないます！》

集団生活における健康管理の為に、本日検査紙をお渡ししますので、説明書をよく読んで

「必ず2日間、朝、起きましたらすぐに行ない」

5月21日(月)または22日(火)朝までに提出してください。

一人でも未提出の方がいますと集団検査の意味がなくなりますし、子どもの体を守っていく為にもお忘れにならないように、ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。